

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	①保健福祉局地域福祉部地域福祉推進課 ②市民文化スポーツ局文化部文化企画課
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	①北九州市立福祉会館	施設類型	1	目的・機能	— ⑦
		②北九州市立戸畑市民会館	施設類型	1	目的・機能	— ④
	所在地	戸畑区汐井町1番6号				
	設置目的	① 社会福祉活動を行う市民に対し、研修の機会を提供するとともに、社会福祉活動及び社会福祉に関する情報交換の場を提供することにより、市民の社会福祉活動の活性化に資する。 ② 演劇、音楽その他の利用に供することにより市民文化の向上に資する。				
利用料金制		<input checked="" type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無				
指定管理者	名 称	社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会				
	所在地	戸畑区汐井町1番6号				
指定管理業務の内容		①福祉会館の管理（受付・庶務、設備運転・保守、警備、清掃）及びウェルとばたのコンセプトに沿ったにぎわいの創出等 ②市民会館の管理運営、貸館業務、自主事業の実施、広報、宣伝業務				
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日				

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点		
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		36		
	(1) 施設の設置目的の達成	35	3	21		
	① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。					
	② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。					
	③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。					
	④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。					
【評価の理由、要因・原因分析】						
①について						
福祉会館【参考：第3期における目標達成状況】						
	区分	項目	目標	実績	達成率	利用者数
平成 26 年度	会議室	利用件数	5,274 件	4,770 件	90%	61,897 人
		利用日数率	84%	83%	99%	
	多目的 ホール	利用件数	713 件	718 件	101%	47,464 人
		利用日数率	87%	89%	102%	
平成 27 年度	会議室	利用件数	5,327 件	4,448 件	83%	60,844 人
		利用日数率	85%	80%	94%	
	多目的 ホール	利用件数	717 件	737 件	103%	51,035 人
		利用日数率	87%	87%	100%	
平成 28 年度	会議室	利用件数	5,432 件	4,627 件	85%	65,893 人
		利用日数率	87%	82%	94%	
	多目的 ホール	利用件数	720 件	757 件	105%	53,389 人
		利用日数率	88%	90%	102%	
平成 29 年度	会議室	利用件数	5,484 件	4,757 件	87%	65,887 人
		利用日数率	87%	83%	95%	
	多目的 ホール	利用件数	724 件	719 件	99%	44,433 人
		利用日数率	88%	88%	100%	
平成 30 年度	会議室	利用件数	5,553 件	4,611 件	83%	62,699 人
		利用日数率	88%	80%	91%	
	多目的 ホール	利用件数	727 件	726 件	100%	45,748 人
		利用日数率	89%	87%	98%	

### 福祉会館【第4期初年度（今回）における目標達成状況】

年度	区分	項目	市の 要求水準	指定管理者 による提案 (目標)	実績	達成率	利用者数
令和 元年度	会議室	稼働率	54.0%	56.0%	53.3%	95.2%	51,984人
		利用日数率	81.0%	82.0%	74.9%	91.3%	
令和 元年度	多目的 ホール	稼働率	69.0%	69.0%	65.0%	94.2%	39,960人
		利用日数率	89.0%	89.0%	86.0%	96.6%	

※参考：「稼働率」、「利用日数率」について

◆「稼働率」

会議室やホールなどの1室について1日を午前、午後、夜間を3枠に分け貸出すとき、年間に利用があった枠の総計を、休館日及びメンテナンス等により使えない日を除いた年間利用可能日の枠の総計で除した割合。

$$\frac{\text{年間に利用があった枠の総計}}{\text{年間利用可能日} \times 3} = \text{稼働率}$$

◆「利用日数率」

会議室やホールなどの1室について、利用可能日の3枠のうち1枠でも利用があった日を利用日とした日の総計を、年間利用可能日で除した割合。

$$\frac{\text{利用日の総計}}{\text{年間利用可能日}} = \text{利用日数率}$$

※第3期（平成26年度～平成30年度）まで、上記「利用日数率」の算式で求めた値を稼働率と表示していたが、第4期から「稼働率」の考え方を上記のとおりとし、これに伴い従来の稼働率を「利用日数率」に改めた。

第4期指定管理期間（令和元年度～令和5年度）から、稼働率と利用日数率による目標管理に改めた。（第3期までの旧「稼働率」と第4期の新「稼働率」の違い等は、上記の「※参考」を参照。）

福祉会館は、第3期と比べ目標の達成率は低下傾向である。

利用人数（参考指標）で見ても、

- ・平成30年度 108,447人（会議室と多目的ホール合計）
- ・令和元年度 91,944人（会議室と多目的ホール合計）

と約1万7千人程度減少している。

要因として、施設老朽化の影響のほか、平成30年度（市政55周年）のMICE誘致による会議等が令和元年度にやや減少に転じたこと（7～8千人の減少）や、令和2年2～3月の新型コロナウイルスの感染症拡大防止によるイベント自粛要請に伴う減少（7～8千人の減少）が挙げられる。

そのような状況はあるものの、老朽化による駐車場出口ゲート使用停止（2基の

うち1基が令和元年12月まで停止)やエスカレーター(2階ペDESTリアンデッキ部の3、4号機)の長期運用停止など、施設・設備が老朽化する中、目標値の達成率は90%を超えており、多くの利用者に研修機会や情報交換の場を提供出来ていると評価できる。

また、福祉会館・ウェルとばたの設置目的の達成強化の観点から、第4期指定管理期間の取組みとして、「ウェルとばたサンクス大賞の創設」や、地域共生の場づくりとしての「(仮称)「ウェルサロン」の設置」といった提案事項も着手された。

「ウェルとばたサンクス大賞」の贈呈式は新型コロナウイルスの感染症拡大防止から中止されたほか、「(仮称)「ウェルサロン」」は場所の選定が振出しに戻るなど、予想外の状況が生じたが、指定管理者として施設の設置目的を強く意識し、新しい取組みを開始している。

以上のことから、福祉会館の設置目的に適った成果を挙げていると評価できる。

#### 戸畑市民会館【参考：第3期における目標達成状況】

	項目	目標	実績	達成率	入場者数
平成26年度	利用件数	914件	996件	109%	113,760人
	利用日数率	73%	79%	108%	
平成27年度	利用件数	927件	1,002件	108%	117,325人
	利用日数率	74%	79%	107%	
平成28年度	利用件数	946件	1,045件	110%	122,782人
	利用日数率	76%	84%	111%	
平成29年度	利用件数	959件	972件	101%	121,306人
	利用日数率	77%	81%	105%	
平成30年度	利用件数	966件	1,002件	104%	114,371人
	利用日数率	77%	79%	103%	

#### 戸畑市民会館【第4期初年度(今回)における目標達成状況】

年度	区分	項目	市の要求水準	指定管理者による提案(目標)	実績	達成率	入場者数
令和元年度	ホール	稼働率	50.0%	56.0%	57.1%	102.0%	95,852人
		利用日数率	75.0%	78.0%	79.1%	101.4%	

戸畑市民会館は、年度計画に則って管理運営等は適切に行われた。

利用件数及び稼働率は目標を達成し、概ね高い水準を維持している。

同規模の黒崎ひびしんホールが平成24年7月にオープンしているが、稼働率を落すことなく運営を行っている。

## ②について

戸畑市民会館の行う自主事業は、会場提供の他に市の助成はなく、指定管理者は入場料収入や協賛金等を事業費に充てる仕組みとなっている。

地域と連携した実行委員会形式による戸畑市民会館事業の「市民会館まつり」（計7回開催、来場者計1,589人）や、福社会館事業の「ウェルカムコンサート」（年度計10回開催、来場者計1,000計）、「映画上映会」（年1回開催、来場者120人）、交流プラザを活用した出展者公募による市民ギャラリーを実施（計7件）して文化に触れる機会を提供している。

「秋まつり」では、地域の商店や障害福祉サービス事業所との連携・協力のもと、9店舗の出店、5団体の発表があった。

平成30年4月から「80歳からの合唱団北九州」の練習拠点として利用され、令和元年度には大ホールで第1回の演奏会も開催され、多くの高齢者の楽しみが広がっている。

催事開催時の福祉関係団体のバザーや、障害者小規模作業所等の館内販売への協力、地元の福祉施設と連携した施設利用者の作品展の実施など、福祉活動の活性化を促進する取り組みを通じて周辺地域のにぎわいを創出した。

総合案内における宅配・コピー等の各種サービスの充実に加え、市内外の催事や行政情報などを来館者に分かりやすく工夫して広報したり、館内のスケジュール表示、ホール用プロジェクターの有料貸出しや練習室・会議室の定期利用者に対する有料ロッカー貸出しサービスなど、利用者の利便性を図り、好評を得ている。

市民会館の舞台スタッフの配置については、主催者との事前打ち合わせや開催時の各舞台設備の運転操作など、優れた技能、資格、実務経験を有するスタッフを配置して利用者のニーズにきめ細かく対応した。

これらのことは、利用者の増加や利便性を高めるものとして取り組んでおり、稼働率の維持につながっていると考えられ、評価できる。

## ③について

週1回行う設備・警備・受付・清掃・舞台などの責任者が集まった「連絡調整会議」では、業務日誌の回覧やミーティングを通じて、苦情、要望、問題点を検討し、その改善を図りながら安全・安心な管理運営サービスの向上に取り組んだ。また、SNSを活用することでシフトによる勤務体制でも十分かつスピーディーな情報伝達を実現している。

また、入居団体で構成する共同防火・防災管理協議会を設置し、防災教育、防災訓練を行うほか、月刊「ウェル新聞」の発行による情報伝達も交えて連携に努めた。

④について

市政だよりや市社協だより等の紙媒体による広報だけでなく、ホームページやフェイスブックを利用した積極的な情報発信を行った。

平成28年度にホームページのリニューアルを実施し、見やすいデザインや分かりやすいコンテンツづくり、スマートフォンへの対応等に取り組んだことにより、ユーザー数が増加している。また、これに伴い、アクセス数も増加している。

年度	ユーザー数
H28年度	55,991人
H29年度	63,539人
H30年度	74,538人
R01年度	85,005人

また、上記ホームページやフェイスブックの利用のほか、コミュニティFM局の協力も得て情報発信に努め、視察や見学、実習生の積極的な受入を行った。

(視察・見学・実習生受入 R01年度 計50人)

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	15	5	15
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

注：H30.8.1開催の「北九州市指定管理者の評価に関する検討会議」ヒアリング時の意見に基づき、アンケート結果のうち無回答は母数に算入せず集計。

①について

【福社会館】

利用者アンケートの結果、総合評価では、「とても満足」、「満足」の割合が次のとおりであった。

満足度	参考：第3期					第4期
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
実績	99%	96%	99%	100%	97%	98.9%

※H29年度まで利用者意見として「1.非常に利用しやすい、2.利用しやすい、3.利用しづらい、4.非常に利用しづらい」の4択のところ、H30年度から利用者意見として「1.とても満足している、2.満足している、3.あまり満足していない、4.まったく満足していない」の4択に変更した。

### 【戸畑市民会館】

貸館利用者を対象にしたアンケートの結果、総合評価が「とても満足」と「まあ満足」の割合が次のとおりであった。

満足度	参考：第3期					第4期
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
実績	100%	99%	100%	99%	99%	100.0%

令和元年度に福社会館利用者が「とても満足」、「満足」と回答した割合は98.9% (n=264)、戸畑市民会館利用者が「とても満足」、「まあ満足」と回答した割合は100.0% (n=88)となっており、施設利用者の満足は得られていると評価できる。

#### ②について

貸館利用者に対するアンケートだけでなく、常時、2階正面玄関にアンケート用紙と箱を設置し、意見を集約した。そこで出された意見や要望については、ミーティング等により内容を分析して改善に努めた。

#### ③について

苦情の適切な解決を図るための実施体制、実施方法、苦情解決調整委員などについて規定した実施要項を定め、利用者の権利を擁護するとともに、事業の質と信頼性の向上に努めた。また、苦情等を受けた場合は、速やかな対応を心がけ、研修や業務連絡で全職員に情報を共有化し注意を促した。

#### ④について

利用者に対しインターネットで施設の空き状況の検索、予約、抽選予約および当選状況の参照を行うことができるシステムを提供している。また、このシステムは視覚障害や聴覚障害がある方でも利用しやすいユニバーサルデザインを採用している。

他にも、2階エレベーターホール横にデジタルサイネージを導入し、情報提供、発信を行っている。

そのほか、市民会館の施設利用者（主催者）に対しては、

- ・専門スタッフも入った事前打合せの中での助言
- ・安全管理上の注意事項の説明

などを行い、適切な情報提供が実施された。

⑤について

お客様の満足度向上、公平性の確保や平等利用、サービス向上、業務スキルの向上や意見交換、対応の統一化を図るため、施設部職員が参加する総合案内業務研修を月1回行なった。

また、設備・警備・受付・清掃・舞台などの責任者が集まって「連絡調整会議」を毎週1回開催し、要望・問題点を検討して、改善を図りながら管理運営、サービス向上に取り組んだ。こうした各スタッフの連携プレーにより、施設利用者に安心・安全を提供した。

また、総合案内でのコピーおよびFAX利用サービス、宅配便受付サービス、筆談器の設置、多目的ホール冷蔵庫貸出しサービスを実施するなど、利用者向けの各種（有料・無料）サービスの充実を図った。

2 効率性の向上等に関する取組み 30 18

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

20

3

12

【評価の理由、要因・原因分析】

①について

【福祉会館】

(単位：千円)

	参考：第3期					第4期
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
予算	124,382	118,930	118,974	118,974	118,974	112,174
うち、光熱水費	36,338	36,338	36,360	36,360	36,360	33,400
決算	119,239	111,893	111,424	113,527	113,275	109,291
うち、光熱水費	31,195	29,301	28,810	30,913	30,661	30,517

【戸畑市民会館】

(単位：千円)

	参考：第3期					第4期
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
予算	116,772	116,772	116,772	116,772	116,772	114,654
うち、光熱水費	30,107	30,107	30,107	30,107	30,107	30,392
決算	116,089	113,582	112,924	114,726	114,162	111,766
うち、光熱水費	30,085	26,917	26,252	28,079	27,499	27,507

【ウェルとばた全体（福社会館＋戸畑市民会館）】

(単位：千円)

	参考：第3期					第4期
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
予算	241,154	235,702	235,746	235,746	235,746	226,828
うち、光熱水費	66,445	66,445	66,467	66,467	66,467	63,792
決算	235,328	225,475	224,348	228,253	227,437	221,057
うち、光熱水費	61,280	56,218	55,062	58,992	58,160	58,024

福社会館及び戸畑市民会館を合わせたウェルとばた全体で、令和元年度決算ベース額（光熱水費精算後額）で平成30年度を下回る221,057千円となった。

経費低減のために、「ウェルとばた」全体での管理コストの削減（「ウェルとばたエコ・オフィスプラン」の推進、大型ゴミの一括処分、カラーコピー機、大判プリンタの導入による印刷費の削減、消耗品や器具・什器の節約や在庫管理の徹底等）に取り組んだ。

光熱水費は燃料需給契約の最適化を図り、日毎、月毎に電気、ガス、水道の各使用量を監視し、節減に努めている。入居団体にもきめ細かい情報提供を行い、ブラインド活用など協力を得るほか、徹底した空調機等の運用管理を行うことで適正水準を維持した。

にぎわい創出事業や自主事業のチラシ・ポスター印刷を外注せずに作成し印刷費を削減に努めた。

これらの取組みが、管理運営コストの削減に表れている。

②について

再委託業者は、清掃業務などに入札を活用して経費が最適化されるよう努めている。

舞台を含む設備等の運転・保守業務については資格・技能、実務経験を有するスタッフを確保している専門業者を選定し、故障発生時の緊急対応にも備えている。

③について

指定管理予算の範囲内で適切に業務を実施した。

(2) 収入の増加			
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	10	3	6

【評価の理由、要因・原因分析】

①について

【福社会館】

指定管理者として、広報誌やホームページにより館内案内や催事情報を積極的に発信しながらも、「1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取り組み」で言及したとおり、施設の老朽化の影響、新型コロナウイルス感染症に伴う利用減少等の影響が出ているが、平成30年度並みの収入額を確保した。

駐車場は、出口ゲート一基停止（2基のうち1基が令和元年12月まで停止）による利便性低下や、近隣施設との競合の影響もあり、使用料は減少傾向である。

(単位：千円)

収入		参考：第3期					第4期
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
会議室 多目的 ホール	収入額	15,478	14,627	14,456	15,945	14,181	14,068
	減免額	7,042	6,746	9,372	8,446	8,493	7,550
	合計	22,520	21,373	23,828	24,391	22,674	21,618
駐車場	収入額	19,267	18,245	17,551	16,983	16,902	15,209
	駐車台数	99,925	96,209	93,490	89,224	88,744	85,083

【戸畑市民会館】

ホームページをはじめ様々な形で情報発信を行い、また利用者の利便性につながる取り組みとして、練習室やリハーサル室を定期的に利用する利用者を対象に月極めでロッカーを貸し出すなどサービス向上に努めた結果、利用件数や稼働率は高い水準を維持し、実収入額は平成30年度を上回った。

(単位：千円)

収入		参考：第3期					第4期
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
市民 会館 使用料	収入額	25,570	26,580	25,105	24,173	25,310	26,598
	減免額	25,117	17,924	25,671	26,499	24,083	22,115
	合計	50,687	44,504	50,776	50,672	49,393	48,713

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	20		12
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況			
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	10	3	6
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
[評価の理由、要因・原因分析]			
①について			
<p>休館日が年末年始のみであり、また、開館時間が9時～22時と長時間であるが、早出・中出・遅出の勤務ローテーションにより1日5名を配置した。また、施設部長以下、管理担当業務、事業企画担当業務及び運営担当業務の管理体制とし、質の高いサービスの提供と効率的な運営を図った。</p>			
②について			
<p>幹部会や職場研修、各種専門研修を実施し、職員の資質・能力向上を図った。また、週1回、設備・警備・受付・清掃・舞台などの責任者による「連絡調整会議」を開き、苦情、要望、問題点を検討し、安全安心な管理運営、サービスの向上に取り組んだ。</p>			
<p>ボランティアや地域福祉指導者の養成研修の実施主体となり、職員自身に関わるなかで多様な人材と触れ合い、能力・スキルをさらに伸ばす環境を保持している。</p>			
<p>また、全国、県、各域の各公立文化施設協会に加盟し、施設を取り巻く諸問題についての情報提供を行い、公立文化施設及び地域の芸術文化の振興に努めた。</p>			
③について			
<p>指定管理者のネットワークを活かして、戸畑区役所、戸畑消防署、中本町商店街、戸畑区婦人会、地元の民間社会福祉施設などと連携した様々なイベントを実施し、「ウエルとばた」を活用したまちの活性化や多世代交流に努めた。</p>			

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など			
① 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。	10	3	6
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
【評価の理由、要因・原因分析】			
①について			
<p>指定管理者が制定した「個人情報に関する方針（プライバシーポリシー）」、「個人情報保護規程」、「コンピューター情報システムの運用に関する規程」に則り、個人情報の入手、利用目的の特定、目的外利用の制限など個人情報の適正な取り扱いを確保するとともに、研修等を通じて全職員に徹底した。</p>			
②について			
<p>受付業務マニュアルを整備して月1回の総合案内研修会を開催し、対応にバラつきがないよう常にサービスの公平性の確保に努めた。</p> <p>市民会館の大・中ホールの利用は毎月1回、公開による抽選会を実施し、福祉会館会議室・多目的ホールや市民会館リハーサル室・練習室は毎月1回施設予約システムによる自動抽選と結果公表を行うなど、平等な条件の下で決定し適切に処理を行った。</p>			
③について（該当なし）			
④について			
<p>月例の各種報告等に問題はなく、適正な経理を行った。</p>			
⑤について			
<p>24時間警備のもと、警備員の定時・不定時の巡回や監視カメラの活用により防犯対策に努めた。</p>			

⑥及び⑦について

自衛消防組織の編成等や、事故対応の役割分担マニュアル・連絡体制の充実・整備に努めた。また、消防法の規定による「消防計画書」を基に総合防火訓練、部分訓練、総合防災訓練を各年1回実施するなど適正に体制を整備・維持している。

新型コロナウイルス感染症に関して、国内で感染が懸念され始めた初期の段階から感染防止対策として各階に消毒液を配置、掲示により注意喚起したほか、来館者や入居団体従事者の感染が確認された場合の情報伝達・情報共有や館内消毒時の対応手順を定め入居団体と共有を図るなど、迅速的確に危機管理体制を構築した。

【総合評価】

合計得点	66	評価ランク	C
[評価の理由]			
<p>指定管理者はこれまでの実績、ネットワーク、ノウハウを活かしながら、一般の市民、福祉関係者、障害者団体・当事者・ボランティアがふれあい、地域がつながる取り組みとしてイベント実施し、にぎわいの創出に貢献した。</p> <p>福祉会館の会議室・多目的ホールについては、設備の老朽化等の要因もあり、稼働率等が伸び悩んでいるが、利用者の満足度も高評価であり、施設の設置目的に沿った研修機会や情報交換の場を提供できている。</p> <p>市民会館については、平成24年に黒崎ひびしんホールがオープンするなど、市内の芸術文化施設の数が増加するなか、利用者アンケートによる満足度は高く、リピーターが多く、高い稼働率を維持しており、利用しやすい施設として支持されている。</p> <p>入居団体の協力も得て行われる省エネの取組みを通じた光熱水費等の節減や、災害・事故時のマニュアル作成、新型コロナウイルス感染症対策における危機管理体制の構築、防犯組織の維持、個人情報保護管理体制の整備、コンプライアンスの徹底など利用者・来館者及び入居団体すべてに安心・安全を提供する体制を保っており、施設の管理運営が適正に行われている。</p>			

[北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見]

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協同で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。